

1 機械本体のデータ

1-1 本機の主な仕様

1. INTEGREGX 300-IIY/400-IIY 芯間 1000

項 目		単 位	INTEGREGX 300-IIY	INTEGREGX 300-IIY BIG BORE	INTEGREGX 400-IIY
			芯間 1000		
能力・容量	チャックサイズ	in.	10"	12"	
	最大振り	mm	φ610		
	往復台上の振り	mm	φ350 ~ φ590		
	最大加工径	mm	φ610		
	最大加工長	mm	1034	998	
	最大支持荷重(チャック含む)	N (kgf)	チャックワーク 1962 (200) シャフトワーク 9810 (1000)	チャックワーク 2453 (250) シャフトワーク 9810 (1000)	
主 軸	回転数	min ⁻¹	35 ~ 3500	35 ~ 3000	
	主軸貫通孔径	mm	φ88	φ112	φ88
	主軸端形状	—	JIS A2-8"		
	主軸用電動機(30分/連続)	kW	AC22/18.5 [日本、アジア] AC26/22 [USA, CE]	AC26/22	AC30/22
	主軸最大トルク	N·m (kgf·m)	490 (50) [日本、アジア] 637 (65) [USA, CE]	637 (65)	1197 (122)
テール ストック	心押軸穴型式	MT	No. 4		No. 5
	最大推力	kN (kgf)	9.8 (1000)		
ミル主軸台	ミル主軸台型式	—	ATC 付 1 スピンドル		
	工具サイズ	旋削外径	□25		
		旋削内径	φ40		
		最大寸法	φ120 × 300 L		
	90°割出し時間	sec	0.5		
	回転工具用電動機出力(20%ED)	kW	15		
	回転工具最大トルク(20%ED)	N·m (kgf·m)	119.4 (12.2)		
回転工具回転数	min ⁻¹	15 ~ 10000			
送り軸	早送り速度	X/Z 軸	30/30		
		Y 軸	15		
	移動量	X 軸	580		
		Z 軸	1095		
		Y 軸	230		
その他	クーラントタンク容量	L	185		
	電源容量(連続定格)	kVA	国内 42.1 輸出 47.0	47.0	48.5
	エア圧力	MPa (kgf/cm ²)	0.5 (5)		
	総エア容量	L/min (ANR)	500		
機械の 大きさ	大きさ (20本マガジン)	心高	1080		
		長さ	3935		
		奥行き	2260		
		高さ	2732		
	機械質量	kg	8610		8925

項 目	単 位	INTEGREX 300-IIY	INTEGREX 300-IIY BIG BORE	INTEGREX 400-IIY
		芯間 1000		
騒音値(LWA)	dB	67.2		
不確定値(K)		4		
測定条件	1. 主軸回転数 2800 min ⁻¹ (チャックによるワーク保持) 2. 送り軸駆動 3. タレットインデックス作動 4. チップコンペア ON 5. テールストック未使用			
測定方法	EN-12415/12417/12478, ISO230-5			
騒音 測定位置	<p>(注) この機械の空気伝導騒音の主音源は下記を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主軸ドライブ ・送り軸ドライブ ・タレットインデックス ・チップコンペア 			
<p>注記: 提示した騒音値は参考値であり、必ずしも安全作業レベルの値ではありません。作業者が実際にさらされる騒音環境は、機械自身の他に、作業部屋や他の騒音も含まれ、機械の数・他の隣接する次工程・作業者がさらされている時間にも影響されます。また、許容される作業への騒音環境も国により異なります。つまり、提示した騒音値と実際の騒音値には相関性がありますが、更なる予防措置が必要かどうかを判断決定する為に、この提示した騒音値のみ信頼して使うことはできません。</p> <p>以下に原文を示します。(EN-12415/12417/12478 の序文より)</p> <p>The figures quoted are emission levels and are not necessarily safe working levels. Whilst there is a correlation between the emission and exposure levels, this cannot be used reliably to determine whether or not further precautions are required. Factors that influence the actual level of exposure of the workforce include the characteristics of the work room, the other sources of noise, etc. i.e. the number of machines and other adjacent processes, and the length of time for which an operator is exposed to the noise. Also the permissible exposure level can vary from country to country. This information, however, will enable the user of the machine to make a better evaluation of the hazard and risk.</p>				

注意: 本説明書で示されている数値と機械に取り付けてある銘板の数値が異なるときは、銘板の数値を使用してください。

1-7 ストローク線図

1. INTEGREGX 300-IIY(芯間 1000 10"中実チャック)

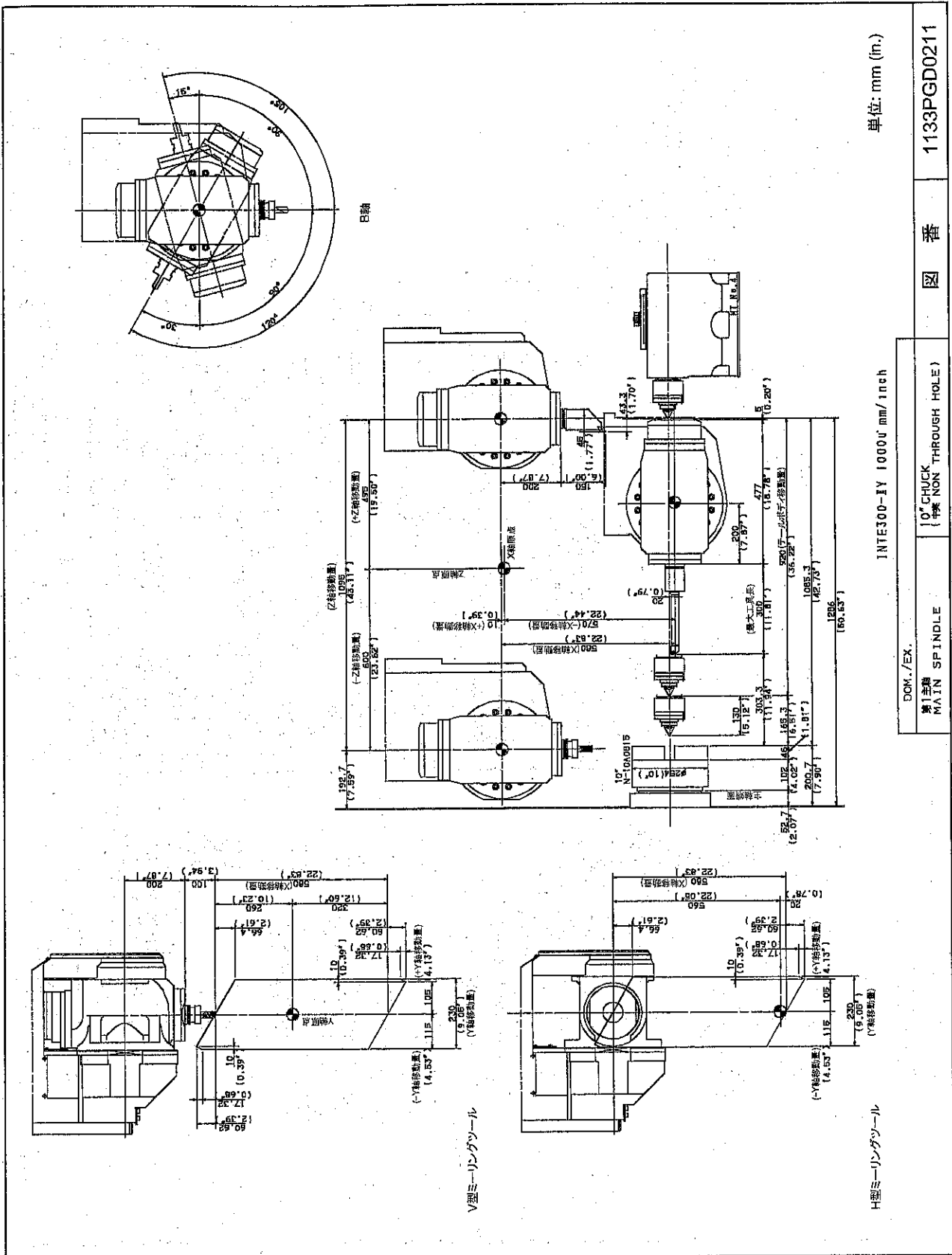


Fig. 1-10 ストローク線図(1/10)

2. INTEGREX 300-IIY (芯間 1000 10"中空チャック)

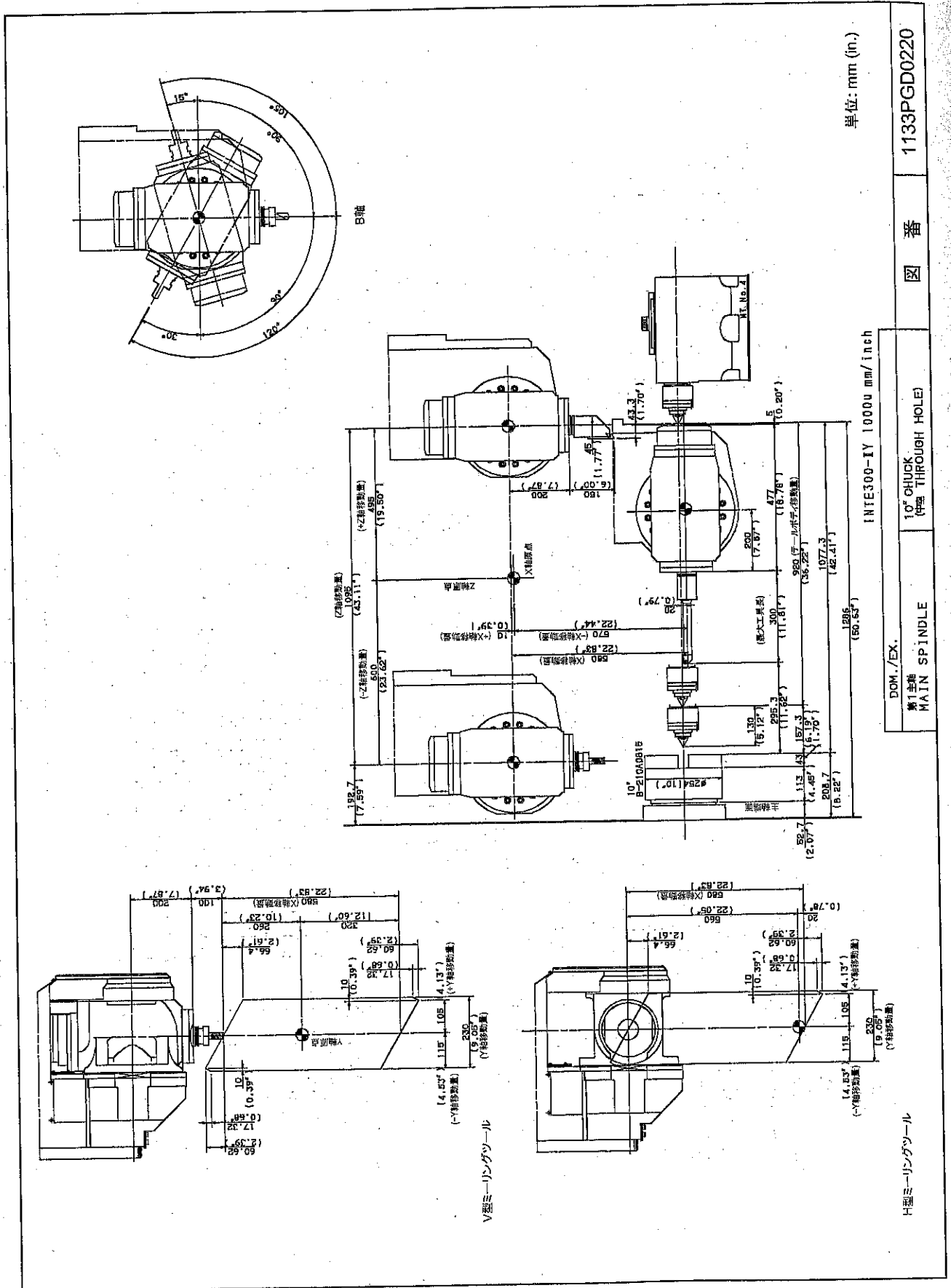


Fig. 1-11 ストローク線図(2/10)